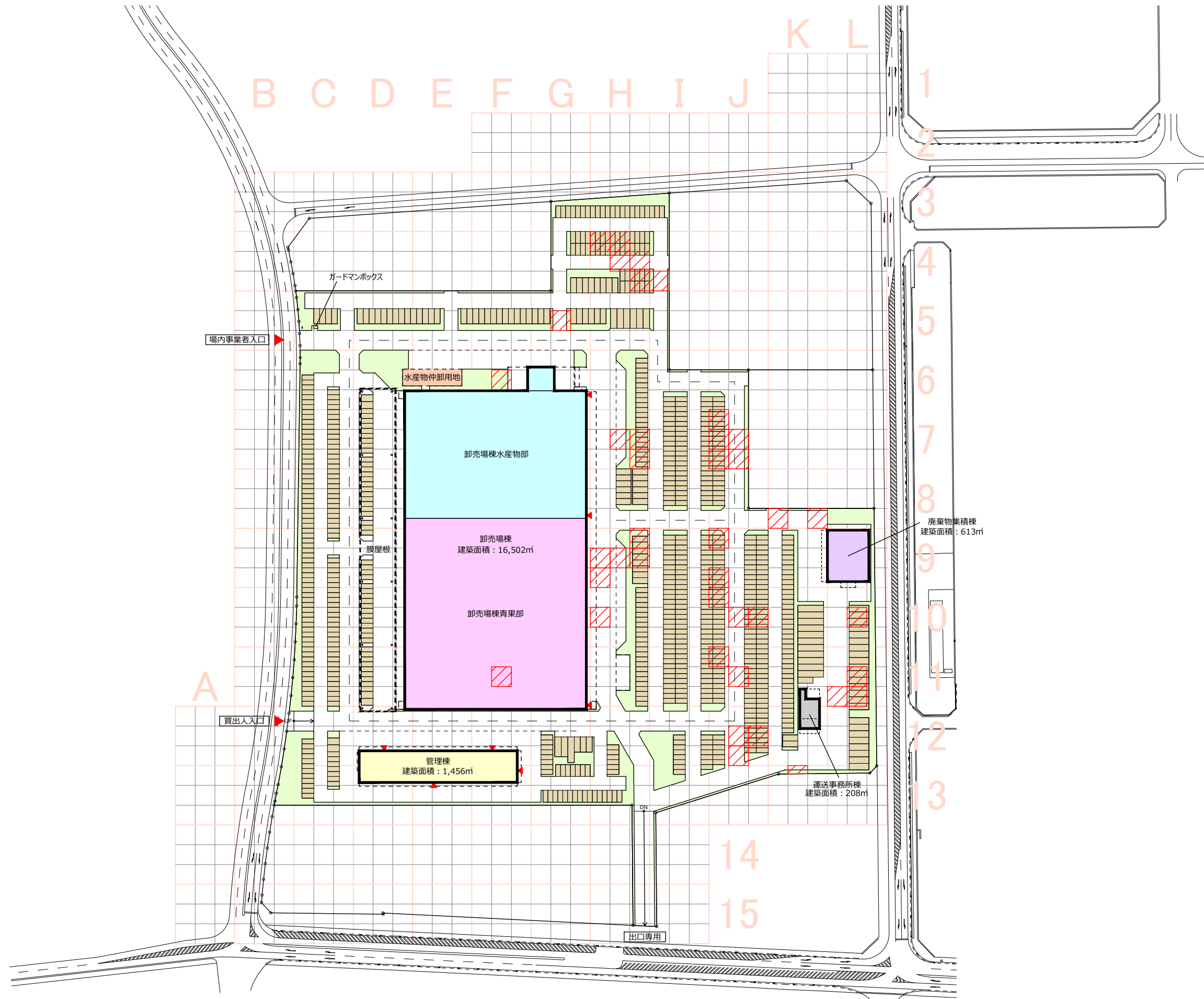


- <凡例>
- : 卸売棟青果部
 - : 卸売棟水産物部
 - : 管理棟
 - : 運送事務所棟
 - : 廃棄物集積棟
 - : 水産関連用地
 - : 緑地エリア
 - : ベンゼン除去区画



配置図

【 建築物における安全対策 】

(1) 配管ピットの配置とレベル

1) 卸売場棟

トイレ・上階からのパイプシャフト部に加え、多量の水を使用する鮮魚・塩干卸売場及び鮮魚・塩干・青果仲卸売場の下部には配管ピットを設ける。
 卸売場・仲卸売場について、排水溝及び集水桝の配置をあらかじめ設定することにより、全面的配管ピットとせず、通路などの部分的な設置とする。〈別紙1参照〉

2) 管理棟・運送事務所棟・廃棄物集積棟

トイレ・上階からのパイプシャフト部に加え、管理棟については、各店舗ごとの用途により水を使用する可能性がある関連店舗部の下部には配管ピットを設ける。〈別紙2参照〉

3) 配管ピットのレベル

配管ピットの深さは、「大梁下端=配管ピットのスラブ底」とし、小梁下において点検スペース及び配管スペースを確保する。〈図(工)～(カ)参照〉

(2) 建築物の構造と仕様

1) 耐震計画による対応

建築物の構造体は、設計GL-15m以深の砂礫層に到達する杭基礎により、安定を図り安全性を確保する。
 卸売場棟と管理棟の地震荷重は、重要度係数(構造強度を向上させるための係数)「Ⅱ類・1.25」を採用し、大地震動により建築物に生じる崩落・変形等を抑制させる。
 ⇒ 地震により生じる建築物の崩落・変形(ひび割れ等)の防止

2) 不同沈下対応

1階スラブ及び配管ピット底部スラブは、建物構造体と一体となった構造スラブを採用する。
 構造スラブ厚は、1階は200mm・配管ピット底部は250mmとする。〈図(ア)～(カ)参照〉
 ⇒ 想定外の地盤沈下に伴う建築物の不同沈下及び変形(ひび割れ等)の防止

3) 止水対応

配管ピットの外面(土砂に接する面)には、塗膜防水を施すと同時に、配管ピット内の底面及び外周部の内壁面には、浸透性塗布防水を施す。また、直接土砂に接するスラブ下には防湿シートを設置する。
 〈図(ア)～(カ)参照〉
 ⇒ 想定外の地下水が発生した場合の建築物への地下水浸入防止

4) コンクリートスラブのひび割れ対応(卸売場棟・管理棟)

商品を取り扱う室(売場・冷蔵庫・保管所等)の床面は、塗床仕上とする。
 ⇒ コンクリートの表面に発生する想定外の軽微なひび割れ等による、建築物の劣化や地下水等の浸入防止

5) 密閉空間場所(冷蔵庫)となる場合の対応(卸売場棟)

所定の構造スラブ(厚200mm)の上に押えコンクリート(厚150mm)を設置し、二重スラブ構造とする。
 〈図(ウ)・(カ)参照〉
 ⇒ 想定外のコンクリート土間の割れ(クラック)が発生した場合の密閉空間における安全の確保

(3) 配管ピット内の換気

1) 卸売場棟(トイレ・現場事務所を除く。)

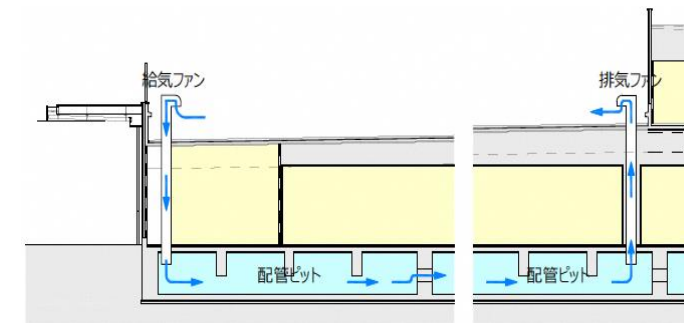
配管ピット内の空気は、ダクトに接続した屋上の「給気ファン・排気ファン(「第1種機械換気方式」を採用)」により、計画的に換気する。〈図(A)・別紙1参照〉
 ⇒ 想定外の空気環境が発生した場合の事前対応設備

2) 卸売場棟(トイレ・現場事務所)及び管理棟・運送事務所棟・廃棄物集積棟

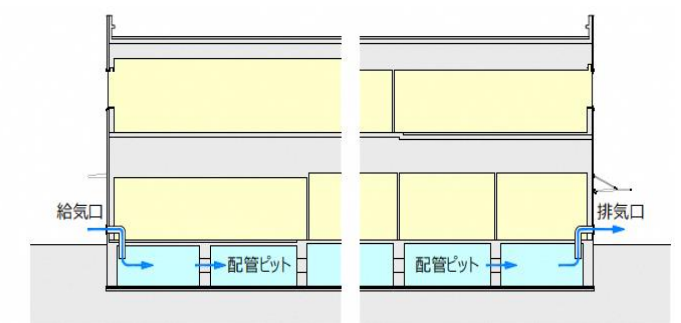
小規模な配管ピットのため、配管ピットから外気に通じる通気管を設け、自然換気方式を採用する。
 〈図(B)・別紙1・別紙2参照〉
 ⇒ 想定外の空気環境が発生した場合の事前対応設備

3) 配管ピットの点検口

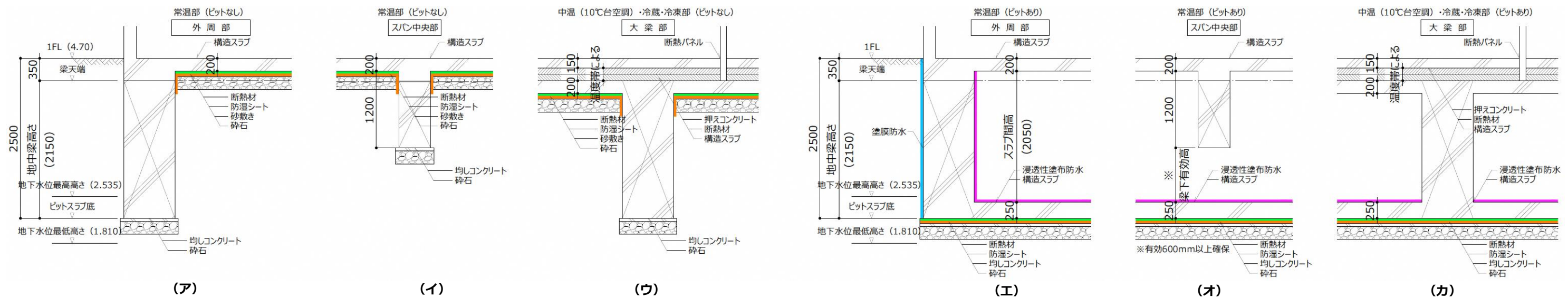
配管ピットの空気は、1)・2)に示す、排気ファン・排気口以外からの排気(「空気の漏れ」含む)がないようにする。
 配管ピットの出入り孔には、フロアハッチ(密閉型(防水・防臭・施錠式))を採用する。
 ⇒ 想定外の空気環境が発生した場合の事前対応設備

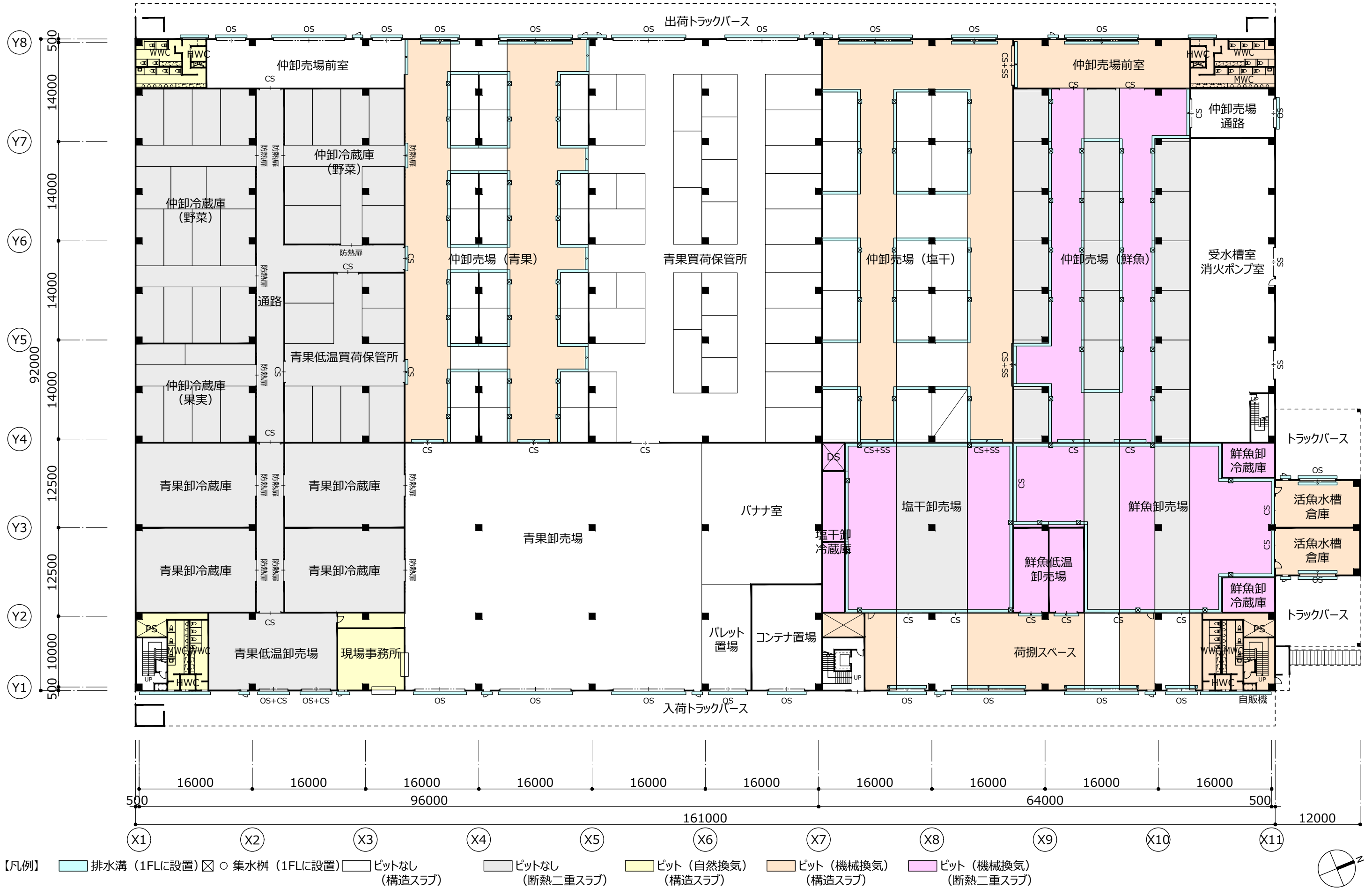


(図A) 第1種機械換気方式 イメージ図



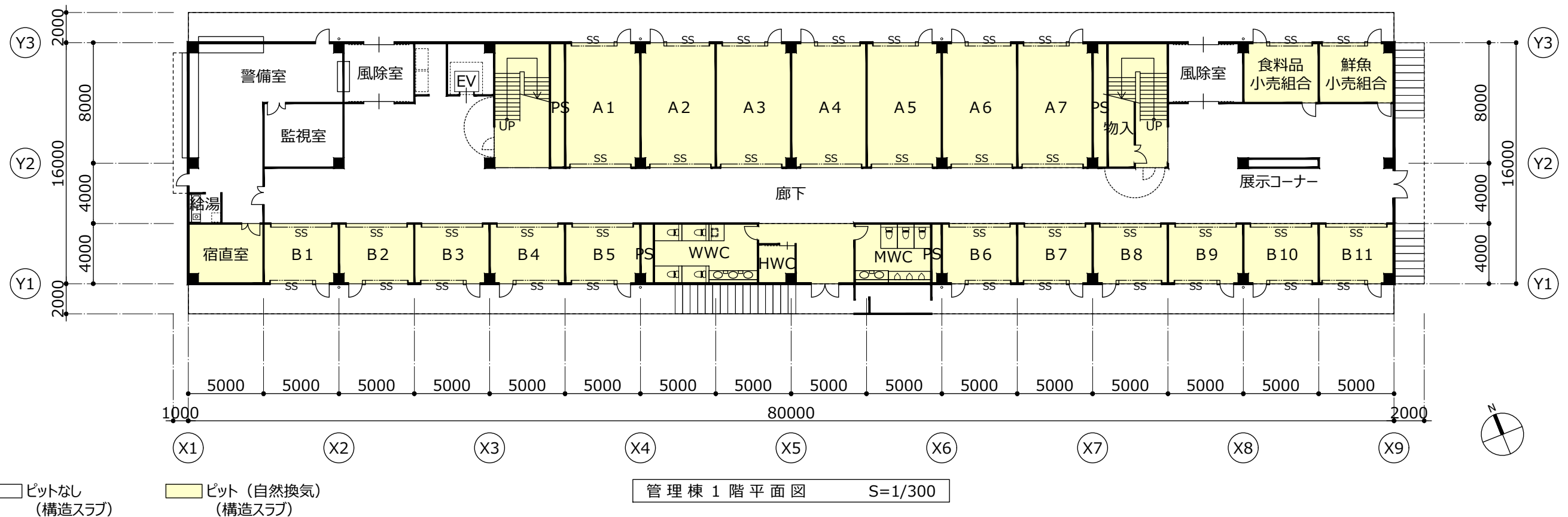
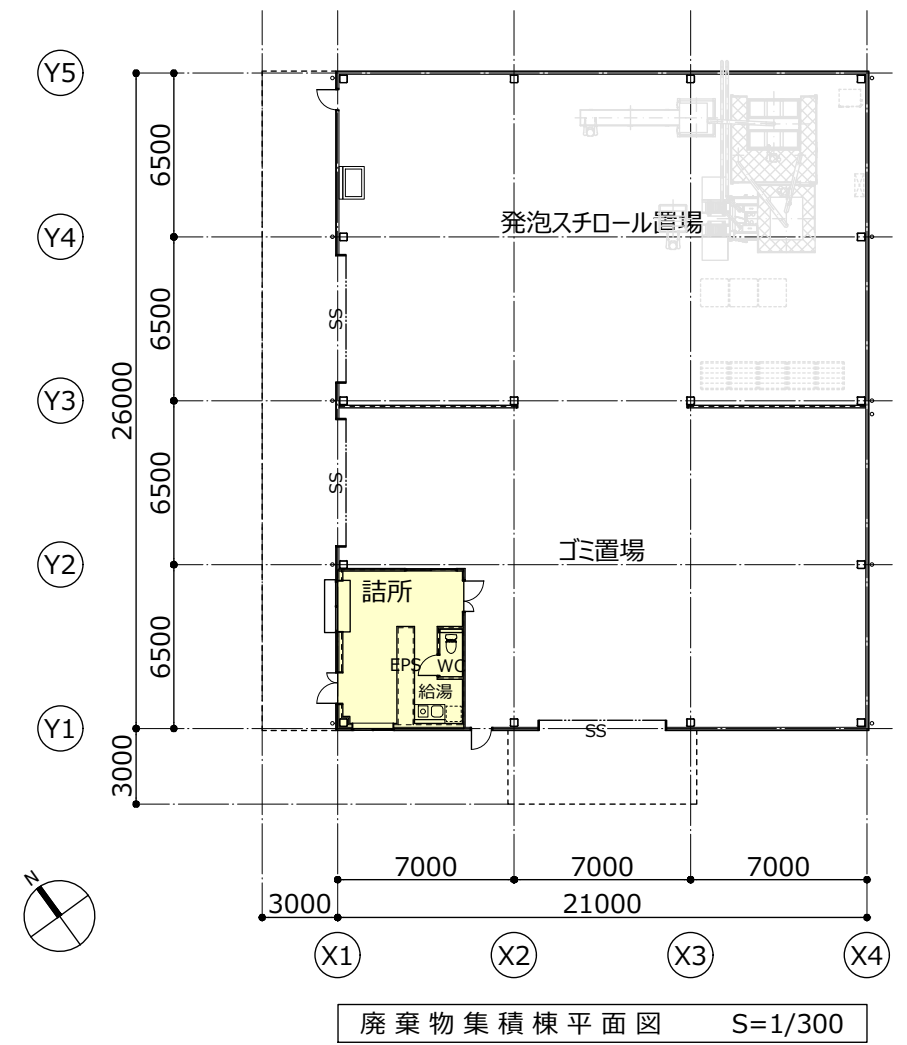
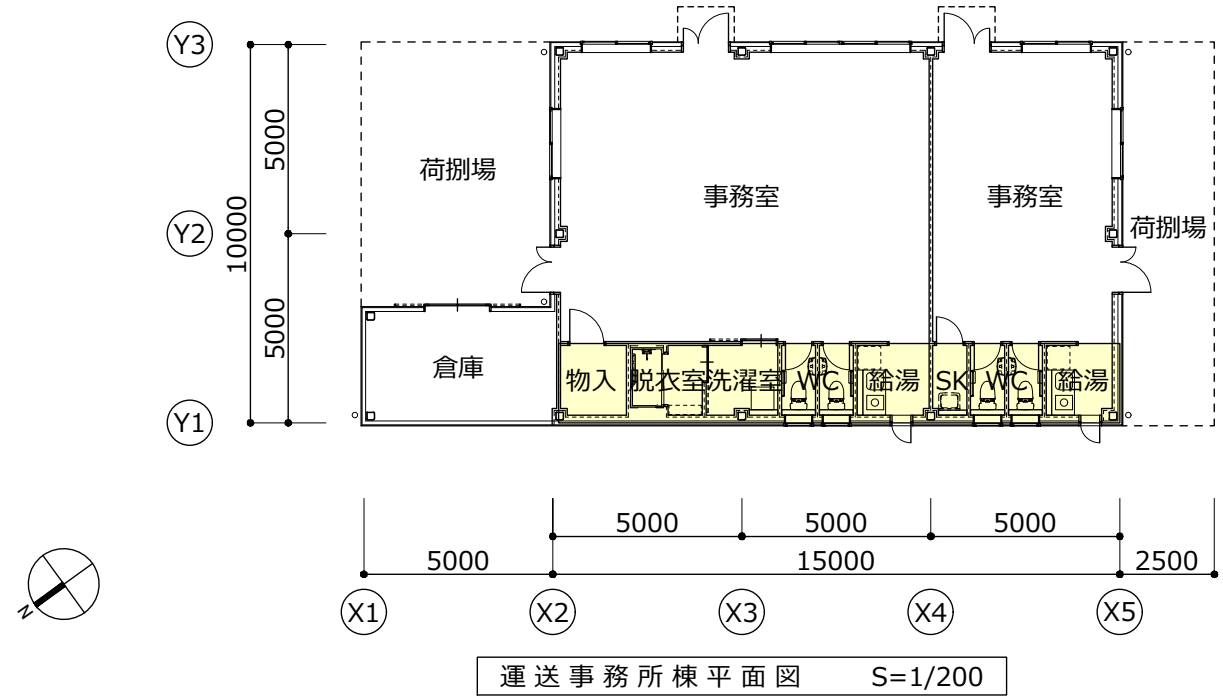
(図B) 自然換気方式 イメージ図





卸売場棟 ピット範囲図 〈別紙1〉

Scale 1:500



【凡例】 □ ピットなし (構造スラブ) □ ピット (自然換気) (構造スラブ)

管理棟・運送事務所棟・廃棄物集積棟 ピット範囲図 〈別紙2〉